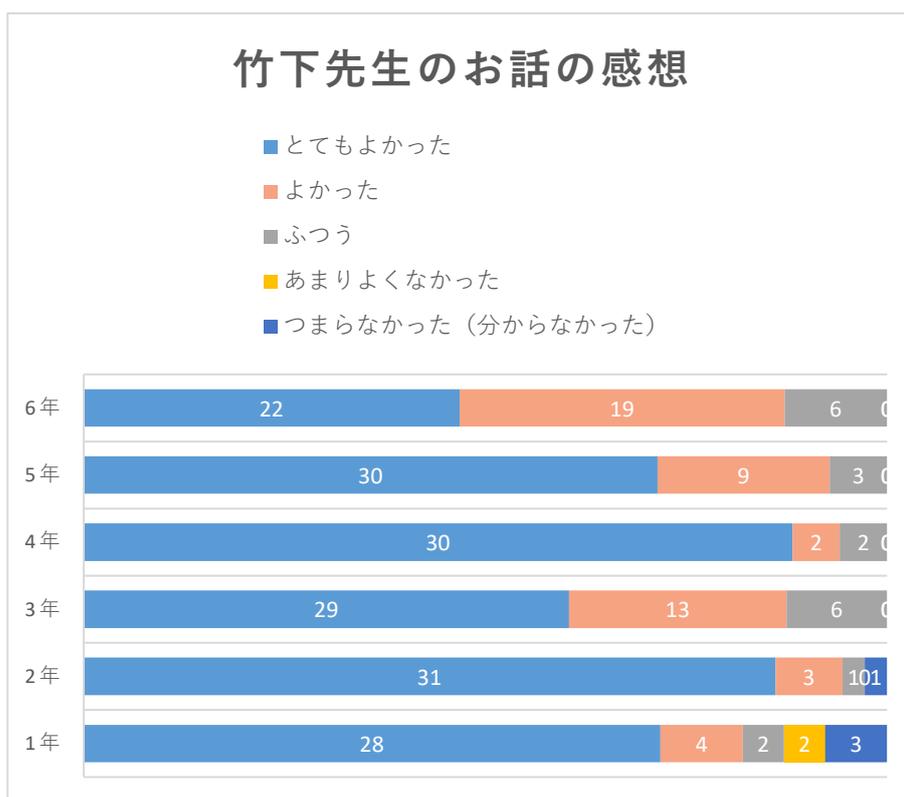


弁当の日講演 喜界小学校児童アンケート

感想	とてもよかった	よかった	ふつう	あまりよくなかった	つまらなかった (分からなかった)
1年	28	4	2	2	3
2年	31	3	1	0	1
3年	29	13	6	0	0
4年	30	2	2	0	0
5年	30	9	3	0	0
6年	22	19	6	0	0



## 1年生

- ・べんとうのかんそうがわかった。一人でおべんとうをつくりたい。
- ・はなちゃんがいっぱいいろんなりょうりがつくれてすごい。いっしょうけんめいりょうりしたい。
- ・わたしもじぶんでつくるのがわかった。じぶんでおべんとうをつくることをつかんがえたい。
- ・じぶんです。じぶんでごはんをつくってみたい。
- ・きょうからごはんをおかあさんとつくる。
- ・おべんとうをつくってみたいになった。じぶんでつくるってわかった。
- ・おとうさんやおかあさんがもし、なくなったりしたときに、きょうだいのおせわをするのはわたしだから、二つでも、りょうりができるようになつたりしたい。
- ・子どもがじぶんでつくっていることがわかった。わたしもじぶんでつくってみたい。
- ・一ねんせいでもできたんだ。おかあさんのりょうりをてつだいたい。
- ・名まえがわかった。じぶんでウインナーをやく。
- ・みんなじぶんでつくってたのがわかりました。じぶんでべんとうをつくりたい。
- ・はなちゃんがすごくがんばっていて、かっこいいとおもいました。きょうの夕ごはんは、おかあさんのお手つだいをして、レベルアップしたいです。こう学年になったら、ぜんぶじぶんでつくってみたいです。すききらいもしないようにならばいいです。
- ・ともだちがじぶんでつくったらすごいとおもう。おべんとうの日はじぶんでつくりたい。
- ・はなちゃんのみそしるのおはなしがよかった。おかあさんといっしょにごはんをつくる。
- ・おべんとうのひがあることをしった。ごはんをたいてみたい。
- ・おかあさんががんばっていること。ごはんをつくってみたい。
- ・さいごのはなしがわかりました。おはなしをきくことをがんばります。
- ・たべものがだいじだとおもった。じぶんでつくりたいっておもった。
- ・ちゃんとはなしした。
- ・おはなしはつまらなかつたけど、いいことだとわかりました。
- ・ごはんをじぶんでつくりたいとおもいました。
- ・ごはんとかおべんとうのひのときもじぶんでつくる。
- ・これからは、じぶんでつくりたいとおもった。
- ・じぶんでごはんをつくりたくなくて、かぞくにたべさせたいです。
- ・このはなしをきいて、わたしもこんどからつくりたいとおもいました。
- ・つぎからおべんとうをじぶんでやる。
- ・おべんとうをつくりたい。
- ・とてもいいことをわかった。

- ・じぶんでおべんとうをつくってみたい。
- ・じぶんでつくってみたいです。
- ・おべんとうの日は、じぶんで5じにおきてどンドンそだていっておべんとうをじぶんでつくりたいです。
- ・みんなのごはんをつくってみんなをよろこばせて、おいしいりょうりをいっぱいつくりたいです。
- ・べんとうは、ちいさいときからつくったほうがみらいのためにもいいのと、けっこんしたときにりょうりをつくるたのしさをしれた。
- ・一人でちょうせんすることでのうりよくがそだつ。やればできそうなことはなんでもする。
- ・これからは、じぶんでつくってみようとおもいました。いまはできないとおもうけど、がんばろうとおもえました。
- ・まいにちじぶんでおべんとうをつくっていきみたいです。
- ・おべんとうをじぶんでつくりたい。からあげをあげるのがたのしみです。
- ・これからうちのひとのおてつだいをがんばる。

## 2年生

- ・わたしも、自分でおべんとうをつくってみたくなりました。今日は、いろんなことをおしえてくださってありがとうございました。
- ・6年生になったら自分でつくってみたいです。
- ・先生ありがとうございます。とてもいいはなしでした。
- ・べんとうのひというのは、だいじなんだと思った。
- ・りょうりのことがわかった。がんばろうとおもった。
- ・あまりりょうりはできないけど、せんたくものとかは、できます。だけどじかんがかかるので、これからせんたくものとかをれんしゅうして、いっぱいかじをできるようになってりっぱなおとなになりたいと思います。ありがとうございます。
- ・おりょうりのお話を聞きました。わたしもおりょうりをやってみたくなりました。今日はありがとうございます。
- ・五年生の子が親を亡くして「つらかったでしょうね」と思いました。私は親のいることと生きていることのありがたさをしりました。親がいなくてもがんばっていることにかんどうしました。今日はありがとうございます。
- ・先生から聞いたお話の中に、5才からおみそしるをつくれる子がいたから、私もがんばろうと思った。しかも六年生からにくじゃががつくれるなんてすごいと思った。私はまだ二年生だから六年生になるまでにくじゃががつくれるようになるためがんばりたいです。
- ・わたしは、母のアドバイスを聞きながらしたり、サポートをされながら作っていたので、小学1年生のはなちゃんや小学6年生のはなちゃんがすばらしいとおもいました。
- ・あのお母さんとお父さんがしんでかなしかったけどそだててくれてありがとうのきもちがあって、いのちのかみさまからのべんとうでいのちをすくえたんだね。すごい。
- ・自分でたまごやきしかつけれないから自分でもちがうものもつくりたい。
- ・おべんとうをこれから一人でできるようにどりよくする。子どものこそだてをがんばるじしんができた。
- ・親がいなくてもりょうりをしたい。
- ・チャレンジします。とくにしょうがやき。
- ・きょうは、ほんとうにありがとうございました。わたしは、おべんとうのときにちょっとだけお母さんにやってもらいたいです。火とかは、お母さんにやってもらいます。
- ・おべんとうをつくってみたいな。

- ・なくなったのが かなしかった。
- ・わたしは、今でもせんたくができるようになった。おふろそうじはあまりしないけどつぎからはおかあさんのためにがんばりたいです。
- ・ぼくは一人でりょうりして、かぞくみんなにぼくのりょうりを食べておいしいと言えるようにこれからがんばります。
- ・「手つだいを手つだいだと思わないでほしい。」ということばが心にのこりました。さい後のものがたりが本当になきそうになるぐらいかんどうしました。弁当の日には自分で弁当を作るにはどうすればよいか考えようと思いました。今日は本当にありがとうございました。
- ・わたしはおべん当は、あんまりつくったことはないけど、おべん当とかがある日は自分でがんばりたいです。
- ・わたしは、これからおべんとうを作りたいと思いました。手つだいをしたらお金をもらったりしようとは思いませんでした。ありがとうございました。
- ・てつだいをちょっとでもして、お金をもらわないようにしたいです。
- ・五年生なのにそだてていたのがすごかった。わたしも五年生になったら自分でおべんとうを作れるようになりたいと思います。ありがとうございました。
- ・わたしは、子どもが家ぞくみんなのごはんを作るのがすごいと思いました。今は、お母さんとごはんを作っているけど、六年生になったら自分でごはん作ってみると言って自分だけでみんなのごはんを作りたいです。
- ・弁当の日ができた理ゆうは、そんな理ゆうと知ったから、5・6年生になったら自分で弁当を作ってみようと思った。弁当の日、春の一日遠足で弁当を自分で作りたいと思いました。こう思ったのは理ゆうを知ったからなので、かんしゃの気もちをつたえたいです。
- ・わたしはあまり自分から「弁当を作ってみよう。」と思ったことはありませんでした。でも、竹下さんがはなちゃんの話などを教えてくれたので、わたしも「自分でぜんぶ弁当や、親が作っているごはんを作ってみよう。」と思いました。今日は本当にありがとうございました。
- ・ぼくは、1学きに自分でつくりました。てつだいをしていました。ぼくは、ねぼうをしててつだいができませんでした。また4月にもするのでつくります。
- ・ぼくも、5年生になったら自分もべんとうとか家じを一人でがんばり、お母さんとかをよろこばせたいです。ずっと一人でべん当をつくれる大人になりたいです。朝早くおきて自分で家ぞくぜんいん分のごはんを自分一人につくれるようになりたいです。
- ・自分もりょうりをしようと思ったし、またおべんとうを遠足の時につくってみようとおもいました。おしえてくれてありがとうございました。
- ・自分のことは自分でして、てつだいも自分でやっていきたいです。ごはんも自分でつくっていききたいです。おべんとうも自分でつくっていききたいです。5年生になったら、自分でおべんとうのおかずをつくりたいです。ごはんも自分でやりたいです。
- ・わたしは、三姉妹の一番下だけど、もし、一番上だったら5年生のお姉ちゃんのように、自分で下の妹、弟を育てたいと思いました。本当にありがとうございました。
- ・一つでもかんたんなレシピをお母さんに聞いてみて、作れそうだったら作ってみる心もちました。理ゆうは、もしお父さんお母さんがいなくなったら、ぼくがお父さんになって、妹といっしょにくらしていけるようになりたいからです。
- ・べんとうの話を聞いてべんとうを作りたいと思った。あといまはべんとうとかは作れないけど、べんきょうして作れるようになりたいと思いました。
- ・ぼくは、竹下先生がべんとうの日を作ったとはじめて知って、ぼくも6年生になったらべんとうを作りたいと思っています。
- ・わたしが5年生になったら、竹下さんみたいに教えたり、自分でごはんを作れるようになったり、いろいろなことをやるようになります。竹下さんがべんとうの日を教えてくださいました。いつかわたしも、料理を作りたいと思いました。

### 3年生

- ・べん当の日が11月～3月にあるのがわかった。べん当の日にだれの力もかりないで作る。
- ・竹下先生の話聞いてわたしは、べんとうを作ったりこんだてを考えたりしてみたいです。お母さんがいそがしい時は、わたしが家事をしたいです。
- ・自分でりょう理を作ろうと思った。
- ・わたしも一人でりょう理をできるように、これからがんばってみたい。さい後の動画がとてもかんどうしてなきそうになった。
- ・自分もおとなになったら家事を人まかせにしないで、自分でできるだけしたい。

- ・弁当の日に、自分で作って食べてみたいと思った。いろんな思いが詰まっている弁当の日だとわかった。
- ・ありがとうございました。これから遠足やかぞくといっしょにピクニックに行く時、わたし一人でりょうりしてみたいと思います。
- ・自分でおべんとうを作ったり、家族のごはんのおてつだいをしたりしたくなった。竹下先生のすんでいた所での初めての弁当の日を知って、お母さんたちの中でいろいろなことを言ってる人がいてびっくりした。
- ・これからなるべく自分でお弁当などを作れるようにしたい。たくさんりょう理のお手つだいなどをしたい。
- ・3月のおわかれえんそくのとき、じぶんでべんとうをつくりたいとおもった。
- ・こんどから自分でごはんがつかれるようになりたい。
- ・べん当の日は大切だと思いました。これからのべん当の日は、親に作ってもらうのではなく、自分でべん当を作りたいと思います。
- ・さいごの「わたしはかわいそうな子じゃない」という話を見て、わたしはおもわずかくれてないでしまいました。なぜかという、よの中には、朝五時に起きてお父さんのおべんとうや麻ごはんをつくる人もいる。小学五年生が妹と弟を（育てて）すごいと思いました。これからおべんとうをつくりたいです。
- ・自分も大きくなったら、きょうだいや自分の子どもにおいしいごはんを食べてえがおになってほしいなあと思った。親からりょうりを教わるのが一番いいのかもしれない。
- ・わたしも自分でつくってみたいと思った。おてつだいをしたいなと思った。
- ・これからは、少しでもりょうりをする。べん当の日がこんなに大事だとはじめてした。
- ・とてもいいお話と、少しかなしいお話をきかせてくれて弁当の日のよさをしったから、弁当の日は自分だけでつく、たべる、かたづけるを一人でしてみたくなった。
- ・これから自分でお弁当を作っていくたい。
- ・まだ子どもだけ他のかいての子は父母がいなかったりなくなったりして自分で作るのがすごいし、自分で習ったり家事をしっかりとってるのがすごい。わたしも、もし父母がなくなったら皿あらいとかがごはん作るとかせんたくとか、いつでも自分で出来るようにしたい。
- ・おてつだいをしたい。
- ・食べ物大切さが、とてもよく分かりました。これから、おべんとうを自分で作りたいと思いました。ありがとうございました。
- ・竹下先生に言われてこれから先どうなるかを考えて、料理などを家族全員分ごはんを作らなきゃと思いました。
- ・これからは、お母さんに作ってもらうんじゃなくて、自分も家ぞくが食べるごはんを作っていくたいです。弁当の日だけじゃなく日ごろからごはんを作りたいです。
- ・話がぜんぜんわからなかった。
- ・これから、のこさず食べたい。弁当の日を作ったのがすごい。
- ・自分でおべんとうをつくってみたいとおもった。
- ・これからたまあにごはんをつくってみたい。
- ・たくさんおいしいものをつくってみたい。お母さんにいつもごはんを作ってもらっているから、自分でも作ってみたい。
- ・台所に立って、弁当を作って、親のお手つだいをしたい。学校に弁当の日があることが分かった。
- ・これからえんそくがあるときは、一人でぜんぶ作ったり、ごはんの作りかたをいっぱい教えてもらってみんなのごはんを作るのをがんばってみたい。
- ・親のお手つだいなしで、おべんとうを作れるようになりたい。
- ・わたしはたまごやきなどできるが、ごはんをたく事などができないので、どりよくしてごはんをたけるようになんぱりたい。おべんとうを作るときは、ほとんどお母さんが作っているけれど、つぎからは自分で作ってみたいと思った。
- ・すききらいしないで「いただきます」「ごちそうさま」とかんしゃの気もちをこめて、食べたり、食べおわったりしたい。お弁当をお母さんにぜんぶやらすんじやなくて、自分でがんばってやってみたい。

- ・弁当の日に弁当つくりたい。
- ・自分でりょうりを一品作ってみたい。
- ・おべんとうをつくってみようとおもった。
- ・自分で弁当をつくるのをがんばってみる。
- ・弁当の日という日があることをはじめてわかった。お話をきいて、子どもをそだてるのがいやな親がいることがわかった。わたしもめだまやきをつくりたくなった。
- ・おべんとうを作ってみたい。
- ・ほくも野球の大会の時ににおにぎりなどをつくりたい。
- ・おべんとうのおかずをお母さんにおしえてもらって、おべんとうがいるときには、お母さんといっしょにつくってみたい。
- ・ごはんを自分でつくれるようになりたい。
- ・しょう来のために、りょうりや家事を手つだうのをがんばりたい。
- ・一人でおべんとうをつくってみたい。
- ・これからは、自分でおべんとうを作ってみようと思った。
- ・おべんとうをがんばってつくりたいです。
- ・じぶんでつくといいとわかった。おかあさんのてつだいをする。
- ・自分でりょうりを作る。おかあさんとれんしゅうしておしえてもらう。
- ・たけしたかずおさんのせつめいがすっごくわかりやすかった。5・6年になったらじぶんでおべんとうをつくるようにしたいです。

#### 4年生

- ・これからは、自分から手伝いをしたりごはんを作る手伝いをしたいです。
- ・わたしはこれからたくさんお手伝いをしていきたいし、「〇〇して」と言われなくても行動したい。わたしは、ようち園の時に1回だけたまご焼きを作ったことがあるけど、毎日はずくらなかつたので、これからは毎日つづけていきたいです。
- ・親が子どもをいらない（うる）とその場所できいていたら、私はびっくりすると思いました。親が知らないメニュー、作ったこともない食べ物を子どもから聞いてびっくりしていたと思います。5年生になったら、しっかり自分で作って、親のたいへんさをしりたいと思いました。
- ・ぼくは、一回もりょうりしたことがないから、話をきいてこれからなんでもちょうせんしようとおもいました。
- ・子どもを売る人がいる。親が同時に亡くなった人がいる。親の代わりに、子どもが親になる。
- ・弁当（料理）を作ろうという気持ちがわいてきました。お父さん、お母さんは、毎日全員分の料理を作っていて大変だと改めて知りました。これから、自分一人で作る料理をたくさんふやしたいです。
- ・これから一人で料理をがんばって家事もやって、大人への一歩をかけあがりたと思います。これからもがんばります。
- ・はなちゃんの話聞いて、私もこんなにいっぱい料理を作りたいと思いました。これから色々な料理をお母さんに教えてもらって、朝ごはんとかを一人で作りたいなと思いました。今、みそしるとオムライスとたけのごはんをつくりたいです。
- ・私も弁当を一人で作れるようになりたいです。家でいっぱいがんばりたい。
- ・弁当の日の時があつて、ほとんどお母さんに作ってもらっていたけど、竹下先生の話聞いて、弁当の日とか、ごはんの時に、全部自分で作って友達に「全部自分で作ったよ。」とじまんでできるようにどりよくしていきたいです。

- ・ じ分でおみそしるとか、ごはんはつくらなかったので、これからはしょうらいにむけて、みそしるとごはんをつくってみたいです。つくってたべてかたづけるのをがんばりたいです。
- ・ 弁当の日には、親に作ってもらわないで自分で作る。自分でいろんな事にとりくむことをがんばってみたい。最後の動画がかんどうした。
- ・ これから私は、大人になっていくので、親になる練習をしていきたいです。私は自分でお弁当を作ったりしないので、料理をして親の気持ちを考えたいと思います。
- ・ わたしは、りょう理はけっこうする時はするけど、もっとお母さんにりょう理の作り方を教えてもらいたいです。今のうちからかじとかをしたいです。これからせんたくとかそうじをがんばってみたい。
- ・ 今日べんとうの話をしてくれて自分でごはんをつくりたくなったので、ごはんをつくるのをがんばりたいです。
- ・ 私がこれからがんばってみたいことは、りょう理をすることです。理由は、自分が親になって子どもをうんだらおいしいごはんを食べさせてあげたいし、先生のお話を聞いて今すぐりょう理をしたいと思ったからです。
- ・ 私は自分から台所に立って、大きくなったら家族みんなにおいしいごはんを作ってあげたいです。そして子育てをがんばりたいです。それに大きくなってたくさん子どもを育てて、子どもにおいしいごはんを食べさせてあげたいです。
- ・ あまりごはんをつくってくれなくてこまっている子どもがいて、ぼくはいまの暮らしを見て、ぜいたくだとわかりました。ぼくは、おやのごはんしかたべてなくて、とてもこまりました。なぜなら、おやになったら、子どもになにもたべさせたりおしえたりできないからです。だからがんばりたいです。でも、まかせたりしてなにもできなくなったらいやだからがんばります。
- ・ 小学5・6年生が自分でおべんとうを見せ合っていて、たまご焼きだけ自分で作ってあとはおやがやったというのがばれて、それでぜんぶ自分でつくったとかわかったり、私もこれからがんばってみようとおもった。
- ・ こう学年から弁当を自分で作るのは、ひじょうにむずかしいとわかりました。
- ・ 私のしょう来の夢は、料理人なので、うれしかったです。私は、あまり弁当を作らないので、お話を聞けてうれしかったし、弁当を作りたいと思いました。
- ・ 弁当の日はとてもだいじということが分かった。僕も自分で弁当を作ってみたくくなりました。
- ・ これからは、おやにごはんやべんとうをつくらせるんじゃなくて、自分でつくりたい。
- ・ りょう理を作れなかったら、子どもを育てたくない人がいることを知った。弁当の日を始めることで、親も学べることを知った。これから、りょう理について学んでいきたい。
- ・ これまで、お母さんがやいたりして自分はいれるだけだった。でも休みの日は、おばあちゃんとりょう理をつくっていた。これから弁当の日はじ分で作って、休みの日は4人の分をお姉ちゃんといっしょに2人がよるこぶりょう理をつくりたいです。これから、いっぱいたべものを大切にたべたいです。
- ・ たまご焼きをやいてみたいと思った。自分の子供をすてる親の話を聞いて、人の命をそまつにする人がいることを知った。すいはんきのつかい方をおしえてもらおうと思った。
- ・ 一番に思いついたのは、遠足弁当をつくるのがあまりない。だから、家のごはんだったり色々なことを自分で学んでいきたい。それで、母をささえていきたい。
- ・ おてつだいは、しょうらいにむけてやればいい。おべんとうの日早くおきていっしょにつくりたい。
- ・ 私は自分で全部おべんとうを作ったことがありません。だけど、竹下先生のお話を聞いて、自分で本やネットで自分が作りたのおかずなどを調べて、全部自分でおべんとうを作りたいです。ありがとうございました。
- ・ これからお母さんがりょう理をするとき、私がお母さんを手伝いたいです。おべんとうがある日は、自分で作ってみたいです。
- ・ 自分で弁当をつくってみようという勇気がもてました。
- ・ カレーのにんじんを切ることが苦手なのでしっかり練習したい。目玉焼きを作れるようにしたい。べんとうを一人でぜんぶ作れるようにしたい。
- ・ 弁当は親だけに作らさないでたまには自分で作って少しでも親のふたんをへらしていけるようにがんばります。大人になってもずっとつづけていきたいです。

## 5年生

- ・ 大人になって子供にいいごはんなどを食べさせたり、いまの内に自分にできることはたくさんやっておきたいと思います。
- ・ 小さいころから弁当づくりとかやっくとしょう来やくにたつと分かりました。子どものうち、ちょっとでもやっくと、おとなになったららくになると気づきました。これから自分ができそうな物は自分で作ってみたいです。
- ・ 弁当は1年生～4年生までは親に作ってもらうことができるけど、5・6年生は高学年だから弁当を一人で作れるようにしたいし、お母さんやお父さんに見せたいです。

- ・弁当をつくるたのしさがわかった。
- ・これから大人になるために少しでもいいから、自分で料理や弁当を月に一回でもいいから作ってみたい。小学生で家ぞくのごはんを一人で作れるという人が1%ということがわかった。
- ・自分でご飯を全員分つくってあげたくなった。弁当の日についてもっと知れて楽しかった。
- ・わたしも自分だけでお弁当が作れるようになりたい。（そうじなども）
- ・もっとがんばっていつか全部自分で作って、親にあげたい。べんとうの日ができるまでに、とてもくろうがかかっていたことがわかった。いろんなことにちょうせんしたい。
- ・最後に見た動画の5年生みたいにはなれていないので、6年生が終わるまでには、家事すべてができるようになりたいです。
- ・話を聞いて、弁当の日がどんなに大事かがすごく分かった。例えば小学六年生で妹と弟を育てたりするのが、私も大人になったらそういう人になりたいと思った。
- ・料理ができるといいこともたくさんあったから、もっと料理をしたい。
- ・これからは、弁当の日はつまらないと思っていたけれど、積極的に料理をつくるのをがんばってみたいと講えんをみて思った。
- ・弁当の日は、少ししか弁当作りをしていなかったけど、これからは朝早おきをして、私ができる料理をしたいです。
- ・よく、遠足とかに弁当が出たらお母さんに作ってもらってかざりつけしかしていなかったの、話を聞いて、遠足などお弁当を作る日があったら一人で作ってみたいです。
- ・弁当の日をしてみたいなと思いました。今日から、家事やごはん作りなどを手伝って、自分でなんでもできるようにしたいです。
- ・弁当の日は、ただ弁当をつくって食べるだけかと思っていました。でも、いろんな思いで弁当の日があることがわかりました。なので、これからは、自分でど力して弁当をつくりたいです。
- ・弁当の日は、しょうらいのために作られたと分かりました。家族にごはんをつくってもらうのもいいけど、休日など料理にチャレンジしてみたいと思いました。こつこつ努力を重ねていい母親になれたらいいなと思っています。
- ・私はお母さんやお父さんがやっている家事をお手伝いとしてやっていましたが、これからは、親になるための準備として、もっと倍以上がんばりたいです。それに私は、家族全員分の食事を作れるか聞かれた時に手を挙げられませんでした。なので、次に聞かれた時は、自身を持って手を挙げられるようにしたいです。
- ・ぼくは、弁当の日にいつもお母さんにやってもらったりおにぎりだけつくっていました。あとぼくは弁当作るのめんどくさいなあと感じていました。でも竹下和男先生から弁当の日の話をきいて弁当の日に楽しく弁当を作ろうと思います。おとなになってりっぱな親になって弁当を作りたいです。
- ・あさはやくおきてべんとうをつくってみたいし、べんとうはみんなでたべれるからいいと思う。
- ・むかしの人は男女でまなぶ教科書もちがうということに気づいた。ごはんを作ってもらうときに手伝おうと思った。
- ・これからは、自分で食べ物を作っていきたい。
- ・弁当の日は、ただあるだけだと思っていたし、「めんどうだなあ」と思っていたこともあったけど、今日の話を聞いて、「そういうことがあって弁当の日をはじめたんだ」と気づきました。これからは、たくさん料理にチャレンジしたいです。」
- ・これから家の手伝いやごはんを作り、しょうらいこうかいのない大人になりたいと思った。
- ・弁当の日が人生を大切にしたりすることがわかりました。弁当の日がいも自分の朝ごはんや昼ごはんや夜ごはんを、できるかぎりがんばりたいです。あげものやスパゲティを一人で全部できるようにがんばりたいです。
- ・弁当の日をぼくは最初そうなんだとしか思っていなかったけど、講演会を聞いて次からは弁当をじぶんでつくろうと思った。説明が分かりやすくして聞きやすかった。自分は親になると思いながら弁当をつくりたい。
- ・「弁当の日」は、一人でつくってかたづけろ!!大人になって、お弁当作りが上手なお母さんになりたい。遠足の時に、「自分でつくって、かたづけもしっかり」をしたいと思いました。
- ・これから弁当の日以外でも、夏休みなどに自分で弁当をつくれるようにがんばりたい。
- ・弁当の日を詳しく知ったことで、食の大切さもわかりました。最後の、『わたしはかわいそうな子じゃない!』を見て、私と同じ5年生だ。すごいなあと、今度の遠足は、しっかり自分でつくろうと思いました。本当にありがとうございました。
- ・未来の孫にみそするやごはんを作ってあげること、これからおとうにりょう理のことをいっぱい教えてもらって、自分で作って家の人にも食べてもらう。あと、弁当の日には、自分で作って、自分のを食べてみたいです。

・私は弁当の日に、弁当に入れることしかしませんでした。だけど、これからは自分で何かをつくっていききたいと思いました。しょう来のためにも、せんとくや茶わん洗いなども、もっとしていききたいです。弁当の日がなんでできたかもよく分かりました。

・分かったことは、弁当の日の大切さです。最初は、弁当の日に弁当を作って食べるだけが弁当の日だと思っていたけど、話を聞いて、弁当の日は大切なんだなと思いました。これからは一人で、親に手伝いをたのまずに弁当を作りたいです。

・お手伝いすることも大事だと思った。お弁当をつくるきかいがあったら、自分で勉強して自分でお弁当をつくったり、夜ごはんも手伝いもしてみたいです。

・これからは、おかあの手伝いを親になった時の練習だと思い、自分でも週に何回か朝ごはんを作ったり、ばんごはんも作ろうと思います。そして、お弁当の日には、いつもだいたいお母さんが作っていました。だけどこれからは、買い出しから全部自分でお弁当を作って、自分で作ったこのよるこびを感じたいです。そして、料理だけではなく、せんとく物、皿あらい、おふろそうじ、部屋そうじも自分でしてみようと思います。

・いつもおべんとうの日は、てつだってもらっていました。お話を聞いたら、一人で作ることは大切なんだときがきました。おわかれえんそくでは、一人でごはんをつくりたいです。

・まず、わかったこと、気づいたことは、小さいうちからなにかしらのりょうりをするので、大人になったらやくだつことです。次に、これからがんばりたいことは、ちょこちょこりょうりをする事です。

・はなちゃんという子は、私と同じくらいのとしなのにもるで経験がちがうから、そんけいできると思った。

・家庭科の授業とかで、みそしるや米のたきかたなどの勉強をしたけれど、グループでやっていて、一人ではつくれるかどうか分からないままになってしまっていることに気づいた。また、授業をした後には、つくることがほとんどなく、つくったとしても、兄に手伝ってもらっていたから、一人ではつけれないことも分かった。だからこれからは、まず一人で料理をつくれるように、一人でちょうせんしたり、教えてもらったりしたいと思う。

・親の人に、子どもにお弁当を一人で作らせたならダメと意見をひいていされながらも、竹下和男さんは、自分の意見を実行できるって、すごいなあと思いました。最後にへんのお話で、五年生が弟と妹の母親になるといって、子育てやそうじ、料理を母親がわりにやるなんてすごいと思ったので、ぼくも一つずつ、なにか作れるようになりたいと思いました。

・よの中には、母、父をなくしたり、うまれてきてほしくない人もいた。そして、ぼくはたまごやきしかできないから、もっとちょうせんしたいです。

・自分もあんまり料理はとくいじゃないので、料理をしようと思うきっかけになったし、弁当の日が大切だなと思った。

・話を聞いて、たまには弁当を母親だけじゃなくて自分だけで作ろうと思った。

## 6年生

・弁当の日でいろいろな出来事があることにびっくりした。遠足のときなどはほとんど自分で作らずに、お母さんに作ってもらっているから、これからは自分一人でもお弁当を作り、自慢できるようにしたい。何でもかんでもお母さんたちにまかせてはいけないと思った。

・ぼくは今まで全てお母さんに任せていました。あと学校の家庭科の授業でもお米のたきかた、おみそしるの作り方も学んでいました。それなのにお母さんに任せていました。だから生きていく上で弁当の日も、それ以外の日も、大人になってけっこうして、子供が生まれても、ちゃんとごはんをつくれるようになりたいです。ぼくは男ですが、男女関係なくごはんをつくれるようになりたいです。

・私はいままで「小学生だから」というのを理由にして、家のことをすべて親にまかせてしまっていた。でも、竹下さんの話をきいて、少しずつでも何かちょうせんしてみようと思いました。

・台所に立たせていないと大人になってから苦労するところをびっくりしました。最後の動画は、日ごろから練習をしておけば何でもあとから役に立つということがよく分かりました。ぼくもいい親になれるようにならばってごはんをつくったりします。いつかぼくは、自分がつくった野菜やお米でごはんをつくってみたいと思いました。

・弁当を作るということは、自分の未来の人生につながっていることがわかった。これからは、親に手伝ってもらわずに、自分で料理やお弁当を作って、親になったときに教えてあげたい。

・これからはお手伝いという意識じゃなくて、親になるための練習として、お母さんやお父さんといっしょにごはんをつくっていききたいと思った。自分が親になったとき、料理がちゃんと出来て、子育てがちゃんとできるいい親になりたいと思った。子どもにも料理を教えたいと思った。

・今のうちに、色んな料理にちょうせんして、自分で弁当をつくれるようになりたいと思った。

・自分もだいたいどころにたったり、せんとくそうじを自分からすすんでやろうとおもった。遠足などの時のお弁当は、ちょっとずつじぶんでつくっていききたい。

・弁当の日にはいろいろなみがあることが分かった。

・今まで1回も親と作ったことがなかったので、これからは少しでも一緒に作りたいなあと思いました。

- ・自分でもなんか料理をつくれるようになりたいと思った。
- ・子供だけで弁当をつくったのがすごいと思いました。
- ・弁当を作るのは、親にほぼ任せているので、これからは自分ですべてできるようにがんばりたい。
- ・今まで弁当をつくるとき、お母さんに手伝いをしてもらっていて、これからは朝早くおきて自分で全部つくりたいと思いました。
- ・ごはんがあんまりうまくつくれないから、ごはんをつくれるようにがんばりたい。
- ・ちょっとでも多くごはんやちょっとした小食をつくりたい。
- ・今までは、弁当の日はめんどいなと思うことが多かったけど、今日教えてもらって、これからはちゃんと自分のしょうらいのためにがんばろうと思いました。
- ・これからはもっとりょうりをしているおとなになりたいとおもった。
- ・子どもの時から弁当をつくって、大人になっても弁当がつくれるようにがんばりたい。けっこんできるかわかんないけど子どもができたなら料理を教えられるお父さんになりたい。
- ・弁当の日は、いろんな考えがあるとわかった。
- ・ごはんを作るのをがんばってみたいと思った。
- ・べんとうを作るときもっと自分でつくるのをふやしたい。
- ・正直私は、朝ごはんなどはお母さんが作るんだとあたりまえだと思っていたが、話を聞いて、一人で朝ごはんを家族の分まで作る1年生もいると聞いておどろきました。なので、これからは休日の昼などは、自分一人で家族の分までごはんを作るように心がけたいです。
- ・弁当にはたくさんの思いだけではなく、力もつけることができるから、弁当の力はすごいなと思いました。これからぼくは、台所にたたされるのではなくて、自分から台所にたっていきたいと思います。
- ・私も料理が好きで、よくおかしやごはんをつくることがあるけど、はなちゃんのように毎日朝5時に起きてお父さんや自分のごはんを用意したことはないし、たぶんどきないと思います。それに、私も遠足などのお弁当はお母さんに作ってもらって私はそれをつめることしかしたことはありません。なので、これからは、みんなに自身をもって見せられるように自分でつくりたいです。
- ・昔は自分で弁当を作る、弁当の日があるということを初めて知った。また、5さいから料理を作っていた人がいるときいて、ぼくはおどろきました。なぜなら、ぼくは12さいだけど、料理を作れないからです。なのでその人みたいに、料理を作ってみたいです。
- ・今まで弁当の日にすべてを自分でやる、という事は無かったから、次弁当を作るきかいがあつたら、かたづけなども自分で全部やりたいと思った。自分が作れる料理をもっと増やしていきたい。
- ・いままで、家の仕事は母や父がたくさんしていた。でもこれからは、大人になってこまらないように、家の仕事をたくさんしていきたい。子育てがいやで子どもを売ろうとする親がいるということが分かった。(びっくりした)弁当の日によって、子どもも親も成長していくということが分かった。これからたくさん料理にチャレンジして、大人になってたくさん料理をつくれるように、たくさん練習したい。
- ・最初はなぜ「弁当の日」があるんだろう？と思っていたけど、講演会を通して、これからは「弁当の日」を大切にしたいと思ったり、もっと積極的に親の手伝いなど、いろいろがんばっていきたいと思いました。少しずつだけど、料理なども、一人で作れるようにがんばっていききたいと思います。
- ・いつ弁当の日が始まって、どこから始まったのかが分かった。昔の人がどんなに大変か気づきました。これからがんばってみたいことは、遠足とかのお弁当とかは、自分で作ってみたいです。宿題がはやく終わったら、ごはんをつくるのを手伝いたいです。
- ・弁当を自分でつくることによって、自分の生活たいど、楽しさが変わることが分かりました。ぼくは、これから手伝いなどをたくさんして、自分一人で家族全員のご飯をつくれるようにがんばりたいです。
- ・大人でも、子供をいらないっていう人がいるんだとびっくりした。私は、弁当を自分で作ったことがあんまりなかったけど、「弁当の日」はこれからのとても大事なんだなと分かり、次弁当がある日は親にたよらず、全部自分でつくりたいと思いました。
- ・弁当の日は、最初何のためにあるのかなと思っていたけど、竹下和男さんの話をきき、納得しました。私はずっと、親は子どもを欲しがり、いやがる人はいないと思っていた。親に、「子供どっちが高く売れるか」といわれたと竹下さんはいった。私は、もし親になったとしたら、しっかり子育てを面倒くささらず、子供を台所にたたせてあげたいなと思った。

・弁当の日は、食材の準備、調理、片付けまでやるようにする日だったんだと初めて知った。小さいころから台所や洗たく、育じをやると、大人になって、家事や子どものせわが楽しくなるんだとわかった。弁当の日の取組方や弁当の日の大切さが分かった。昔は、女子と男子はちがうじゅぎょうをやっていたと初めて知った。昔は、子どもが女の子だったら、おばあちゃんが女の子を小さいころから台所に立たせて、家族のご飯をいっしょに作っていく人々がいると知った。これからはもっと弁当の日のとき自分で全部弁当を作っていきたいと思います。

・僕が分かったことや気づいたことは、最初辺りで竹下さんが質問した家族分のご飯と味そ汁をつくれるか。で、つくれない人が高学年の人でも多いなと思いました。そして竹下さんが話してくれた中の、子供を売りたい人や年々に大人になっていく人達が料理をつくれなくなっていくという現状を知りました。そして僕が思ったことは、事故で両親を亡くした子供や母を亡くした人や父の分まで朝食をつくる1年生の話聞いて、お弁当をつくるときは今まで手伝ってもらったことや買い物全部一人でやっていこうと思いました。またそのようなことをすることで将来の楽しみにつながるということも知りました。

・これからは、もっと料理をがんばろうと思った。そのために、親に料理（焼き・ゆで・炒め・炒り・ませ・蒸しなど）の作り方を教わって、実せんじょうと思いました。

・ぼくは、弁当や料理を作るのが大好きです。ですが、新しい料理には挑戦せずに、得意な物ばかりを作っています。ですが、先生の話聞き、なぜか新しい料理に挑戦してみようという気持ちに変わり、頭の中にたくさんアイデアがうかんできました。そしてごはんだけではなく、ゼリーなどおかしにも挑戦したいです。

・日本には、「育てるのが面倒くさい」という理由で養子として売ったり、子育てをしない人がいるから少子高れい化になっていることが分かった。だから、育ててもらえたり、料理をちゃんと作ったりしてくれている親に感謝し、ちゃんと子育てやご飯を作れるような親になりたい。

・今まで親が作っていたからなるべく自分で作ってみようと思った。弁当のことについて色々なことを学んだ。

・弁当のことについて学習したり、自分で作ってみたいです。

・日本にも、親を亡くして子どもだけで生きていかなければいけない人がたくさんいることを知った。私は自分で料理をすることがあまりないので、これからは少しずつ料理をつくれるようにがんばりたい。親が作ってくれた料理を残すことがないようにしていきたい。

・世の中には、親がいなくても子どもだけで生活できていてすごいと思った。もし自分の親がいなくなったときに生活できるように家庭科の学習をしっかりとうけ、家のことをできるようにしたいと思った。

・ぼくは、竹下さんの話を聞いて、子どもころから料理を始めることによって、自分が親になったときに子どもたちに教える事ができることが分かったし、これから大切にしていきたいのは、自分がかんべきにできて教えることです。そうしたらたくさん教えられるからです。自分から料理をしたいです。

・子どもを売りたいがる親が、日本にいるんだと思った。朝、はやくおきて、兄ちゃんのお弁当を作るお父さんの手伝いをしたい。

・自分たちとちがうしょうがくせいは自分一人でべんとうをつくれることがわかった。

・がんばってみたいこと①相手に作ってもらうのではなく、自分で作って、これからは生かしたい。②できなくても、一緒に協力したりお手伝いして、できなかったことをまたがんばりたいです。

・これから、自分で弁当を作ってみたい。